

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.
109
2015.4.18



府内藩校遊焉館絵図（弥栄神社蔵）

平成27年度テーマ展示Ⅰ

郷士の宝箱

-収蔵指定文化財-

4月18日（土）～6月28日（日）

大分市
歴史資料館

郷土の宝箱

-収蔵指定文化財-

4月18日(土)～6月28日(日)

大分市には現在、数多くの文化財が伝えられています。それらは、長い年月の中で育まれた大分の歴史や文化の特色を雄弁に物語っています。大分市歴史資料館は開館以来、それら貴重な資料を収集し、保管・展示してきました。

現在、歴史的価値の高い全54件の有形文化財が市の指定を受け、その内12件が当館に所蔵及び寄託されています。

本テーマ展では、これら12件の市指定有形文化財を一堂に展示し、大切に守り継がれてきた本市のお宝を通して、連綿と続く郷土の豊かな歴史や文化を紹介します。

表紙紹介：府内藩校遊焉館絵図

平成6年2月28日指定

弥栄神社蔵

表紙の絵図は江戸時代末期の府内藩校遊焉館での学習風景が描かれたもので、絵図の中央にある建物では講義や習字が行われ、隣の武道場では剣道と棒術などの練習風景が見受けられます。

府内藩士の子弟は8歳になると必ずここに入学し、およそ200人前後の生徒が文武両道を学んでいました。

この絵図には文武に励む藩士子弟の姿が生き生きと描かれており、全国的にも珍しい絵図といえます。



【弥生時代】

伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈

平成20年12月4日指定 銅戈：歴史資料館蔵 石戈：個人蔵

「戈」とは、長い木製の柄などに直角に刃を取り付けた鎌のような武器です。日本では主に祭器として使われました。この銅戈は細形銅戈といわれるもので、日本における初期の銅造品のひとつと考えられています。石戈は、市内で唯一の出土品です。どちらも、大分の弥生文化を考える上で極めて重要な資料として指定されています。



【弥生時代】

大分市内出土青銅破鏡

平成21年12月16日指定 歴史資料館蔵

銅鏡を意図的に分割したものを「破鏡」といいます。破鏡の表面や割れた部分によく磨かれており、中には小さな穴をあけペンダントのように利用されていたものもあります。

弥生時代の青銅鏡の出土例は、北部九州に集中しており、これらの破鏡は北部九州と大分との強いつながりを示しています。



【弥生時代】

大分市内出土青銅器

平成22年12月17日指定 歴史資料館蔵

小銅鐸は、多武尾(横尾)遺跡から出土したもので、熊本県の出土例とあわせて銅鐸出土の南限と言われています。

ヤリガンナは、下郡遺跡から出土したもので、県内では唯一の出土品です。

この2つの青銅器は、その重要性和希少性の高さから、一括して指定されました。



【平安時代】

「天長九年尼寺」「尼寺」墨書土器

平成23年12月19日指定 歴史資料館蔵

本資料は豊後国分寺の寺域外、北西部地区から出土したものです。土器の底に墨で「尼寺 天長九年」と書かれています。豊後国分尼寺の存在を証明する重要な資料であると共に、「天長九年(832)」の紀年銘が書かれており、考古学的にも土器の使用年代を知ることができる極めて価値の高い資料です。



【戦国時代】

勝光寺華南三彩貼花文五耳壺

平成21年12月16日指定 勝光寺蔵

花唐草の文様を貼り付け、緑・黄・褐色の釉薬で彩った壺です。豊後府内町の発掘調査から、この種の陶器片が多く出土しており、大友氏の南蛮貿易を語る上で欠かせない資料となっています。本品は、その大友氏に関わりの深い勝光寺に伝わったものであり、同時代の伝世品として非常に貴重な資料です。



【江戸時代】

刀

昭和49年1月9日指定 歴史資料館蔵

この刀は、天保9年(1838)に角幸安という人物の発注で、府内藩の刀鍛冶、富田権兵衛盛利が70歳の時に制作したものです。

富田家は四つ目の極印を使用していたことから「四つ目鍛冶」とも呼ばれ、府内刀工の代表的な存在でした。盛利はその8代目にあたります。



【江戸時代】

熊野権現縁起絵巻 昭和49年1月9日指定

熊野神社蔵

天竺摩訶陀国(インド)から熊野権現が日本の紀州に飛来する由来を全13巻にわたって描いた絵巻物です。巻末の奥書には、寛永5年(1628)に徳川家康の孫、松平忠直が熊野神社に奉納した旨が記されています。

本絵巻の作者は岩佐又兵衛と伝えられています。同じ場面を繰り返し描く段落構成や細やかな描写彩色などに又兵衛様式は認められますが、人物描写は明らかに又兵衛とは異なり、又兵衛の工房またはそこで学んだ岩佐派の絵師による作品と考えられています。



【桃山～江戸時代】

波奈之丸屏風(厳島神社図) 平成2年7月16日指定

首藤規行氏蔵

熊本藩主細川氏の参勤交代の際に使用された御座船・波奈之丸の藩主の居室に置かれていた屏風で、春と秋の厳島神社の風景を六曲一双に表現していることから、厳島神社図とも呼ばれています。

全体を通して建物や内部の細かな調度品も克明に表現され、人物表現にも実在感が感じられるなど、作者の優れた力量がうかがえます。

この屏風は、熊本藩の参勤交代の要港として栄えた豊後鶴崎の歴史を物語る遺品です。



【江戸時代】

御城下絵図 昭和56年8月1日指定

歴史資料館蔵

府内藩主大給松平氏の城下やその賑わいを描いた絵巻です。城下最大のイベントであった柞原八幡宮の放生会の祭りや、その祭礼市である「浜の市」での芝居や花火の賑わい等が、祭り見物に赴く藩主の行列を軸に描かれています。本図は、寛保3年(1743)に焼失して以後再建されることのない府内城の天守や、承応2年(1653)に土橋から木橋に造りかえられた仙石橋が描かれていることから、17世紀後半～18世紀前半の状況を描いたものと見られ、制作年もそれに近い頃と考えられています。

2つの銅矛 -大分市指定有形文化財-

平成25年度と平成26年度に、下記の2つの銅矛が、市の有形文化財に指定されました。

①伝名辺山谷出土銅矛【平成26年3月11日指定】

この銅矛は、中広形銅矛と呼ばれる弥生時代中期末から後期初頭に作られた製品で、佐賀関町の早吸姫神社の旧神官家に伝えられていたものです。江戸時代、佐賀関は熊本藩領に属し、佐賀関会所が置かれていました。若林勝邦氏の「銅鉞・銅剣の新材料」(『考古界』1-6 明治34年刊)によると、文政9(1826)年12月、海部郡旧木田村名辺山谷(現大分市坂ノ市)から、百姓松右衛門が5本の銅器(銅戈3本、銅矛2本)を発見し、うち銅矛1本を熊本城下に差だし、残りを佐賀関会所が所蔵したことが紹介されています。幕末の豊後の国学者、後藤碩田が編纂した「大化帖下絵」(大分県立大分図書館所蔵)には、その「海部郡木田村鍋山谷土中所出銅鉞之図」と銅戈の図が載せられており、本資料は、その銅鉞の図と形状的によく似ており、木田村名辺山谷出土の銅矛の1つと推定されています。

②猪野遺跡出土銅矛【平成27年3月9日指定】

この銅矛は、中広形銅矛と呼ばれる弥生時代中期末から後期初頭に作られたもので、猪野遺跡第6次調査において地中に埋められた状態で発見されました。銅矛が埋められた状態(埋納遺構)で見つかることは大変めずらしく、九州でも4例しか見つかっていません。銅矛祭祀といわれる祭りの形態を考える上で、学術的価値が非常に高く位置付けられています。

上記の銅矛2本は、どちらも東九州の弥生文化や地域の形成を考える上で大変重要な資料として、市の有形文化財に指定されました。



銅矛(上:伝名辺山谷出土/下:猪野遺跡出土) 歴史資料館蔵

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
■休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館
また第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館
年末年始 12月28日～1月4日

■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下 無料 ※団体は20名以上
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。
◎入館時に受付で手帳を提示してください。

■交通機関
・JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分
・大分自動車道 大分I.C・光吉I.Cよりともに約15分

ふれあい歴史体験講座

■定員 各回50～70名程度(先着順)
■時間 午前の部 9時30分～(約2時間)
午後の部 14時00分～(約2時間)



	実施日	内容	材料費	受付開始日
第1回	4月18日(土)	勾玉作り	220円	4月3日(金)
第2回	5月16日(土)	粘土はにわ作り	230円	5月3日(日)
第3回	6月6日(土)	土笛作り	60円	5月19日(火)
第4回	6月20日(土)	管玉・丸玉作り	270円	6月3日(水)
第5回	7月4日(土)	七夕飾り作り	無料	6月18日(木)

■応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。
(大分市歴史資料館:097-549-0880)

昔のおもちゃで遊ぼう

■内容 歴史資料館隣の広い史跡公園で、竹馬・竹とんぼ・竹弓矢、コマなどの昔のおもちゃで、思い切り遊びます。体験当日は、手押し式消防ポンプ体験を家族みんなで力を合わせて行います。



手押し式消防ポンプ体験の様子

■日時 5月5日(火)【こどもの日】
9時30分～16時(15時受付終了)
■料金 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

テーマ展示解説講座

■内容 講座室でテーマ展示「郷土の宝箱-収蔵指定文化財-」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。

■日時 5月10日(日) 14時～15時30分
■参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。

発行日:平成27年4月18日

発行:大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 Tel.097-549-0880 Fax.097-549-5766

※大分市ホームページの「観光・魅力>歴史・文化財>歴史・文化を学ぶ>大分市歴史資料館」も併せてご覧下さい。
(http://www.city.oita.oita.jp/)